

# 淡路(三原川等)地域総合治水推進計画

## 平成26年度の主な取組実績

淡路(三原川等)地域総合治水推進計画の概要

- 1.河川下水道対策
- 2.流域対策
- 3.減災対策



# 淡路(三原川等)地域総合治水推進計画の概要

# 淡路(三原川等)地域総合治水推進計画の概要

「兵庫県総合治水条例」に基づき、総合治水に関する施策の計画的な推進を図るため、平成26年3月に「淡路(三原川等)地域総合治水推進計画」を策定しました。

## 計画期間

計画期間は、平成25年度から概ね10年間。

## 基本目標

**ながす**：洲本川、三原川、志筑川等の流下能力の確保  
**ためる**：ため池・水田等を活用した流出抑制機能の向上  
**そなえる**：市街地などにおける浸水に対する備えの強化

## 総合治水の推進に関する基本的な方針

- ① 県・市・地域住民が協力して、**河川下水道対策(ながす)**、**流域対策(ためる)**、**減災対策(そなえる)**を推進します。
- ② モデル地区を選定し、率先して流域対策に取り組めます。
  - ・洲本川水系：ため池貯留、各戸貯留、公園貯留、歩道透水性舗装 等
  - ・三原川水系：ため池貯留、水田貯留、歩道透水性舗装 等
  - ・志筑川水系：ため池貯留、歩道透水性舗装 等



推進計画パンフレット

# 1.河川下水道対策

# 1.河川下水道対策

※「1-17①」などの施策番号は、資料-2と整合しています。

## 1-17①.志筑川放水路の整備完成

県市

○平成26年5月末、洪水を市街地の上流で本川から宝珠川へバイパスする「志筑川放水路」が完成しました。

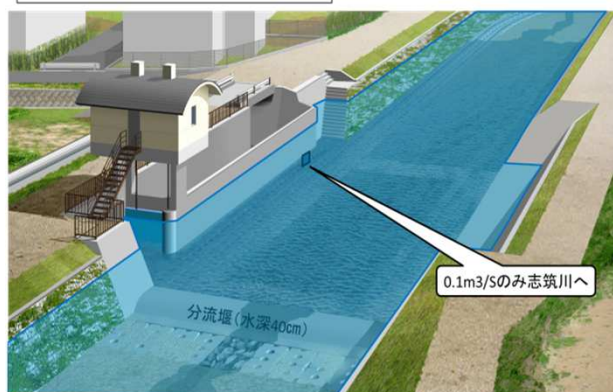
○6月25日には、地元関係者や中田保育園の園児らによる完成記念式典が行われました。



志筑川放水路 分流施設(平常時)



志筑川放水路 分流施設(洪水時)





# 1.河川下水道対策

## 1-17②③.台風19号豪雨時の河川整備の効果 県

○平成26年10月の台風19号豪雨は、平成16年台風23号豪雨を上回る降雨でしたが、放水路が効果を発揮し、淡路市中心市街地の浸水被害は生じませんでした。

### 志筑川(淡路市)での放水路整備の効果

○平成16年台風23号では、浸水面積40ha、床上浸水143戸、床下浸水131戸という甚大な浸水被害がありました。その後も度重なる浸水被害が発生していましたが、志筑川放水路の完成により、洪水を市街地の**上流**で宝珠川へ安全に流すことができ、市街地の浸水被害はありませんでした。

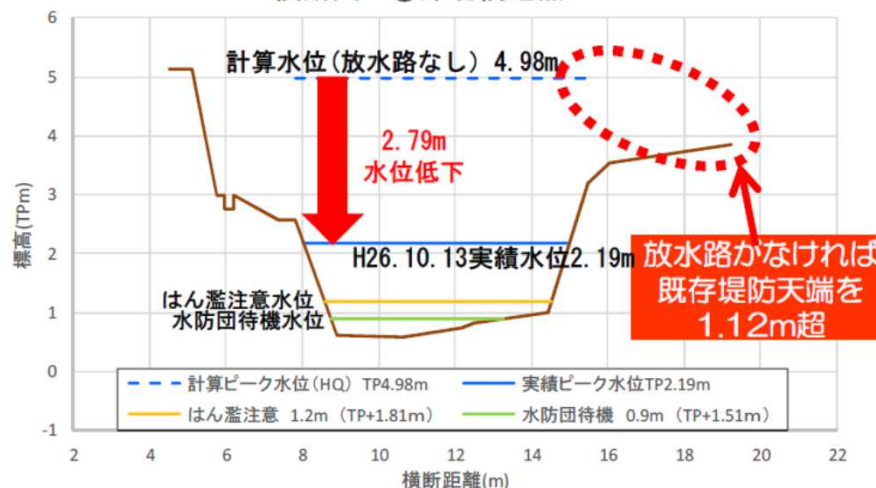
#### 台風第19号豪雨の状況

志筑(淡路市)では、平成16年台風23号、平成23年台風第15号の降雨に匹敵する豪雨でした。雨量から見ると、放水路整備前であれば、平成16年台風第23号時と同規模の浸水被害になっていたと想定されます。

		志筑(淡路市)	
平成16年10月 台風第23号	時間最大	77	
	24時間最大	356	
平成23年9月 台風第15号	時間最大	77	
	24時間最大	428	
平成26年10月 台風第19号	時間最大	88	
	24時間最大	371	

【地域の声】淡路市志筑連合町内会長田尾成(しげる)氏  
「台風11号、19号と2回の台風が直撃したが、放水路が完成したため、志筑地区の冠水による水害被害は無かった。放水路のおかげで以前のような家の中を濁流が通るといふ心配もなく、子も孫も将来にわたり安心な生活が約束された。」

横断面図 ①津名橋地点



放水路



放水路からの水が流入しても、安全に水を流下する宝珠川

宝珠川



志筑川本川



大雨が降っても、水位があまり上がらなかった志筑川本川

# 1.河川下水道対策

## 1-1 ①②.台風19号豪雨時の河川整備の効果

県

○平成26年10月の台風19号豪雨は、平成16年台風23号豪雨を上回る降雨でしたが、河川改修の効果により、溢水による市街地の浸水被害は生じませんでした。

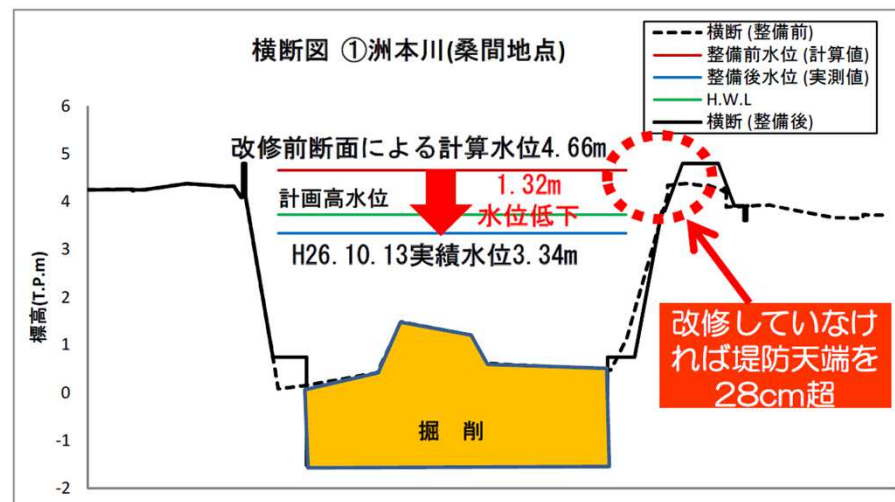
### 洲本川(洲本市)での河川改修の効果

○平成16年台風23号では、死者5名、床上・床下浸水家屋3,496戸という甚大な被害がありました。激特事業等により河川水位が低下し、洪水を安全に流すことが出来ました。

#### 台風第19号豪雨の状況

洲本では、平成16年台風第23号、平成23年台風第15号の降雨を上回る豪雨でした。雨量から見ると、河川改修前であれば、平成16年台風第23号時と同規模の被害になっていたと想定されます。

洲本(洲本市)		
平成16年10月 台風第23号	時間最大	51
	24時間最大	317
平成23年9月 台風第15号	時間最大	51
	24時間最大	330
平成26年10月 台風第19号	時間最大	93
	24時間最大	334



【地域の声】 洲本市連合町内会副会長 高浜義尚氏  
「10年前の台風の再来かと不安であった。改修前であれば同じような被害がでていたかもしれないが、河川改修のおかげで洲本川が氾濫することはなかった。改修の効果を実感できた。」

# 1.河川下水道対策

## 1-9・1-18.河川整備事業 県

- 三原川水系倭文川整備の一環として、松島橋下部工の工事を実施しました。
- 都志川新潮止堰（下部工、上部工）の工事を実施しています。



【三原川水系 倭文川松島橋架替】



【都志川水系 都志川潮止堰設置】

### 【効果】

河川対策（ながす対策）を実施し、流下能力の確保・向上を図ります。

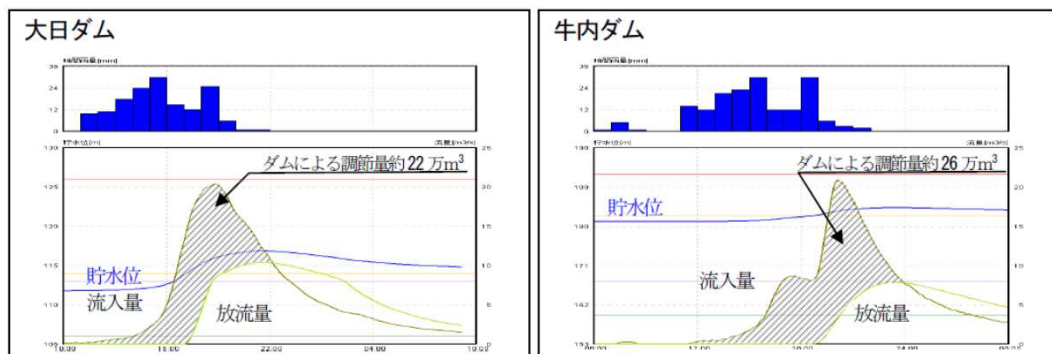


# 1.河川下水道対策

## 1-20.洪水調節ダムの運用・管理

県

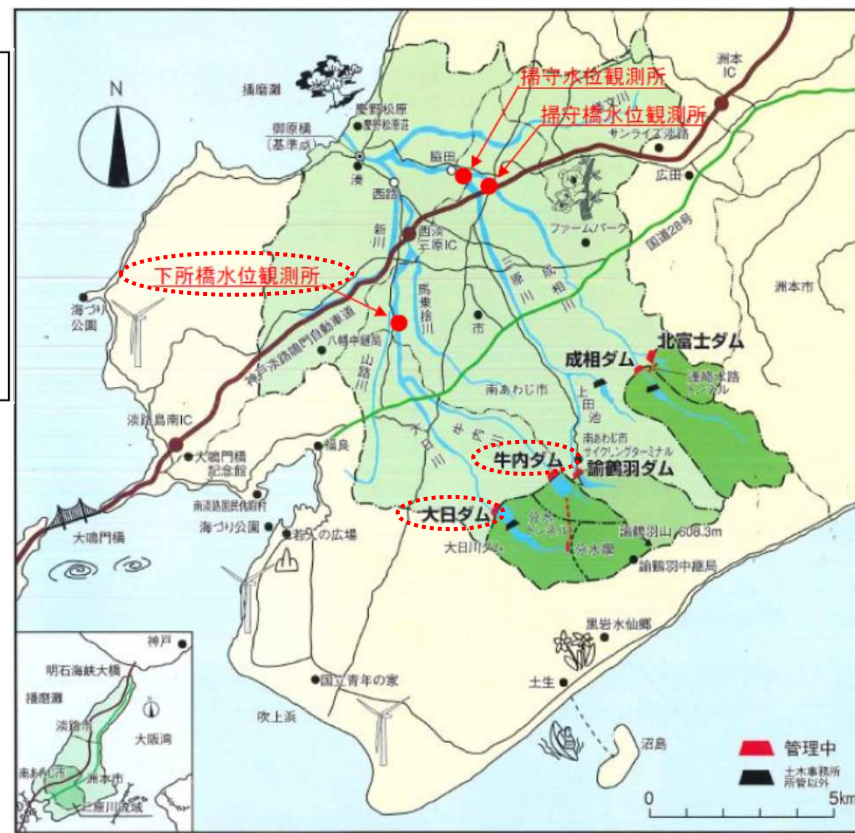
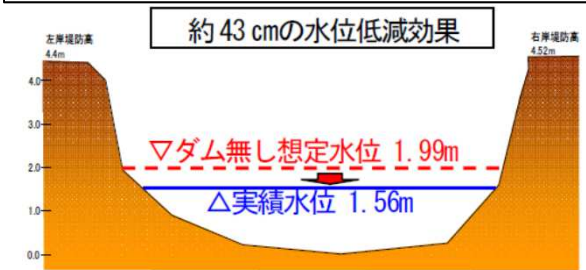
○平成26年台風19号豪雨において、統合管理中の三原川水系5ダムで、あわせて約139万 $m^3$ を一時的にダムに貯留しました。



ダム地点降雨量と洪水調節状況

### 水位低減効果の例

○大日・牛内ダム  
大日川(下所橋水位観測所)の最高水位を約43cm低下(1.99m→1.56m)し、水防団待機水位を回避しました。



### 【効果】

牛内ダム及び大日ダム下流の下所橋地点で水位を43cm低減し、水防団待機水位を回避するなどの効果を発揮しました。  
5ダムの一時貯留量：**139万 $m^3$**

## 2.流域对策

# 2.流域対策

【流域対策モデル地区】

管理者

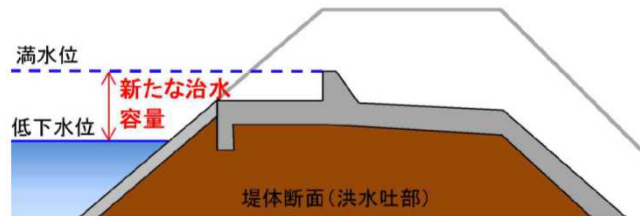
県

市

## 2-11 ①.ため池の事前水位低下・かいぼり・貯留時期調整

○河川整備に加えて、ため池貯留(事前水位低下)が効果を発揮しました。

- ・台風11号・19号襲来前に、防災無線等で水位低下を呼びかけ(各市対応)。
- ・台風19号前の事前放流等により、**条例ため池約2千箇所**で**約1,500万m<sup>3</sup>の貯留**があったと推計。
- ・また、貯水量と健全性を確保するため、「かいぼり復活」を推進(年10箇所)。
- ・かんがい期の後半にかけて水量を調節し、9月後半以降非かんがい期の間、治水容量を確保。



ため池を事前に落水していたときに創出される治水容量のイメージ図



しとおり

川池(南あわじ市倭文):  
事前水位低下で約3万m<sup>3</sup>を貯留

### 【効果】

(農地・農業用施設被害)

- ・H16年台風23号：14,727件・241億円
- ・H23年台風15号：5,099件・99億円



**被害がH16台風23号の約1/8に!**



平成26年10月25日神戸新聞

## 2.流域対策

### 2-4①.ため池改修等のハード対策

県

【流域対策モデル地区】

①ため池の点検を進め、必要に応じて改修を行い、「災害に強いため池づくり」を推進

・H26県営整備:34箇所(事業中)

→大雨時のため池決壊を防止し、ため池が通常有する洪水調整機能を確保

②ため池改修と併せ、水位低下用の排水工設置等を行い、治水容量を確保

・H26排水工設置:7箇所(洲本市5箇所、南あわじ市2箇所)

→約3万 $m^3$ 分の治水容量の確保が可能



高坂池(南あわじ市)

○ため池の満水位を決める洪水吐の堰部分を一部切り下げ、満水位を下げることで可能なように施工。



土取池(洲本市)

○ため池の水量を常時一定水位まで下げておくように満水位下0.5~1.0mのところに「ため池栓φ100」(風呂の栓のようなもの)を設置。



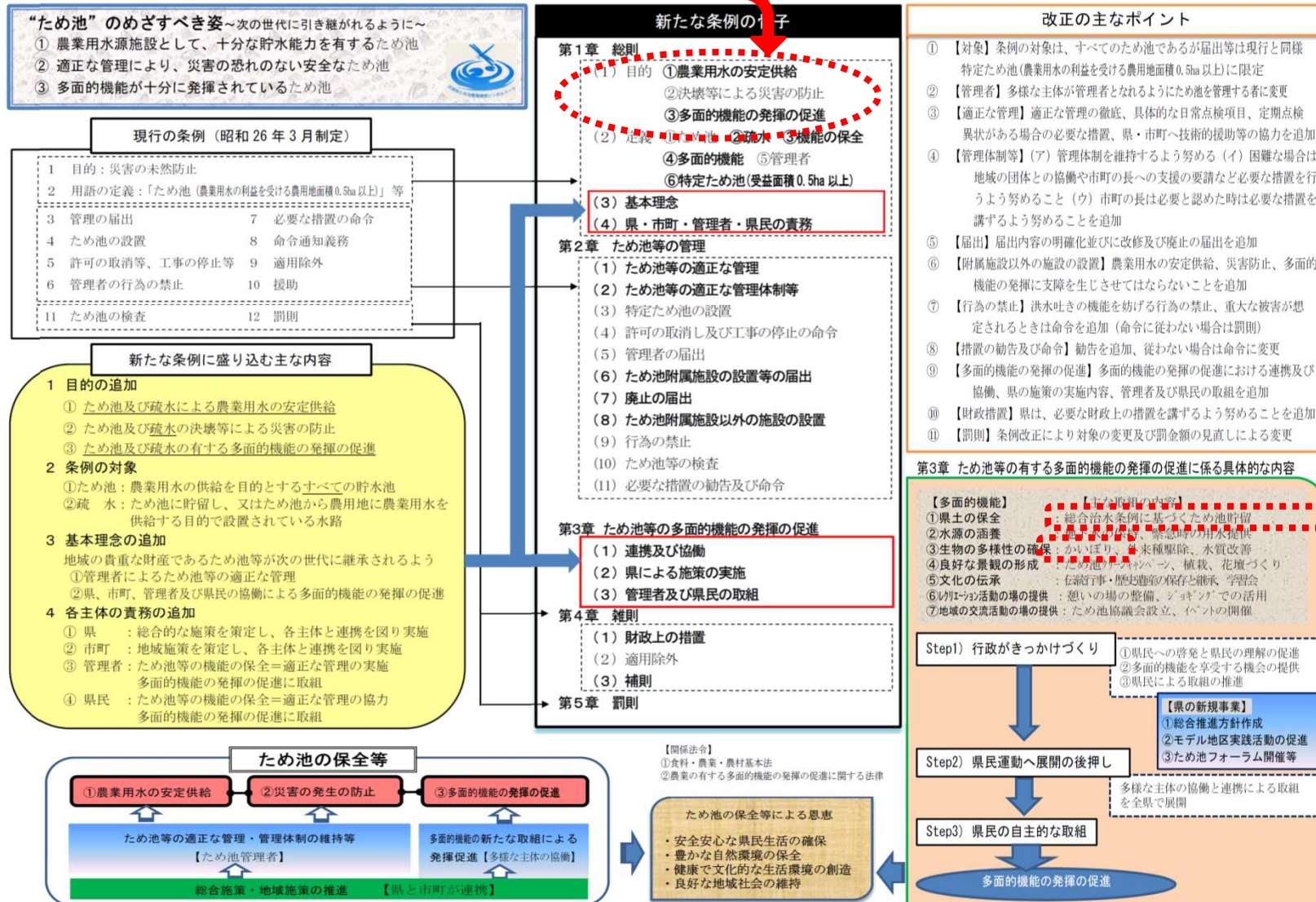
# 2.流域対策

## 2-4③.ため池保全条例改正 県

○ため池の多面的機能の促進を目的に追加し、ため池貯留等を推進するように改正予定。

【効果】

ため池貯留が促進されることが期待されます。







## 2.流域対策

【流域対策モデル地区】

### 2-6①.城戸アグリ公園の雨水貯留 市

- 使われなくなったため池を埋立て、公園（12,000m<sup>2</sup>）にする際、雨水約**1万m<sup>3</sup>**を貯留可能にしました。
- 大雨が事前に予想される時に、水門の調整を行い、多目的公園に貯留します。

【城戸アグリ公園（洲本市木戸）】



【効果】

公園に雨水を一時貯留し、流出抑制を図ります。

## 2.流域対策

【流域対策モデル地区】

### 2-7①.県庁舎における雨水貯留浸透実証実験

県

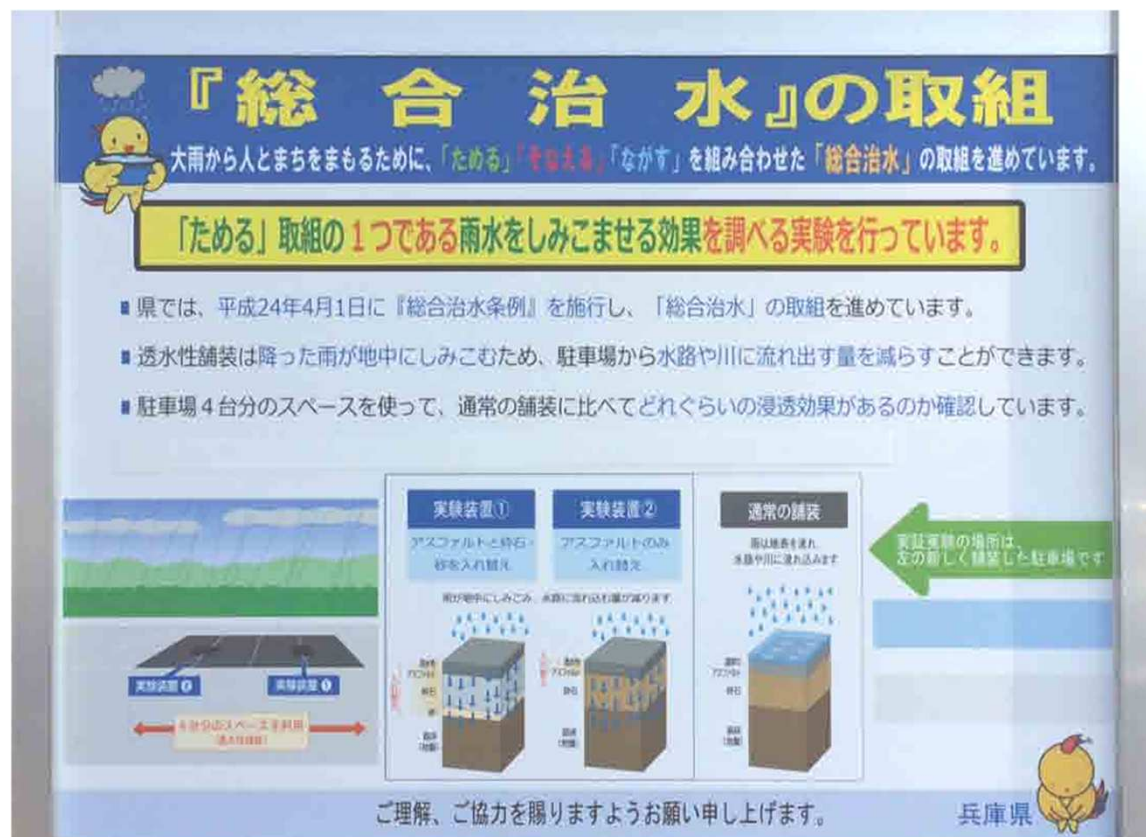
○淡路県民局の駐車場の一区画を透水性アスファルト舗装に打ち換え、雨水浸透効果を検証する実験を実施しています。



施工前



施工後



『総合治水』の取組

大雨から人とまちをまもるために、「ためる」「せまえる」「ながす」を組み合わせた「総合治水」の取組を進めています。

「ためる」取組の1つである雨水をしみこませる効果を調べる実験を行っています。

- 県では、平成24年4月1日に『総合治水条例』を施行し、「総合治水」の取組を進めています。
- 透水性舗装は降った雨が地中にしみこむため、駐車場から水路や川に流れ出す量を減らすことができます。
- 駐車場4台分のスペースを使って、通常の舗装に比べてどれくらいの浸透効果があるのか確認しています。

実験装置① アスファルトと砂石・砂を入れ替える  
雨が地中にしみこみ、水路に流れ出す量が減ります。

実験装置② アスファルトのみを入れ替える  
雨が地中にしみこみ、水路に流れ出す量が減ります。

通常の舗装 雨水は地表を流れ、水路や川に流れ込みます。

実験装置の場所は、このように舗装した駐車場です。

ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

兵庫県

PR看板

#### 【効果】

地域住民の皆さんの出入りが多い事務所で実験を行うことで、PR効果が期待できます。



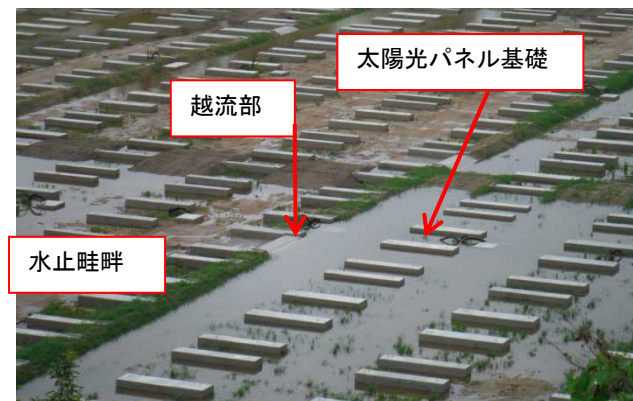
## 2.流域対策

### 2-7④.林地開発における雨水一時貯留

所有者

開発行為の目的： 工場・事業場の設置（津名東太陽光発電事業）  
開発行為者： 淡路市津名の郷4番10（株ユーラスエナジー淡路）  
係る森林の面積： 約61ha（事業区域面積：太陽光発電33.5MW・約140ha）

完了予定年月日： 平成27年6月30日

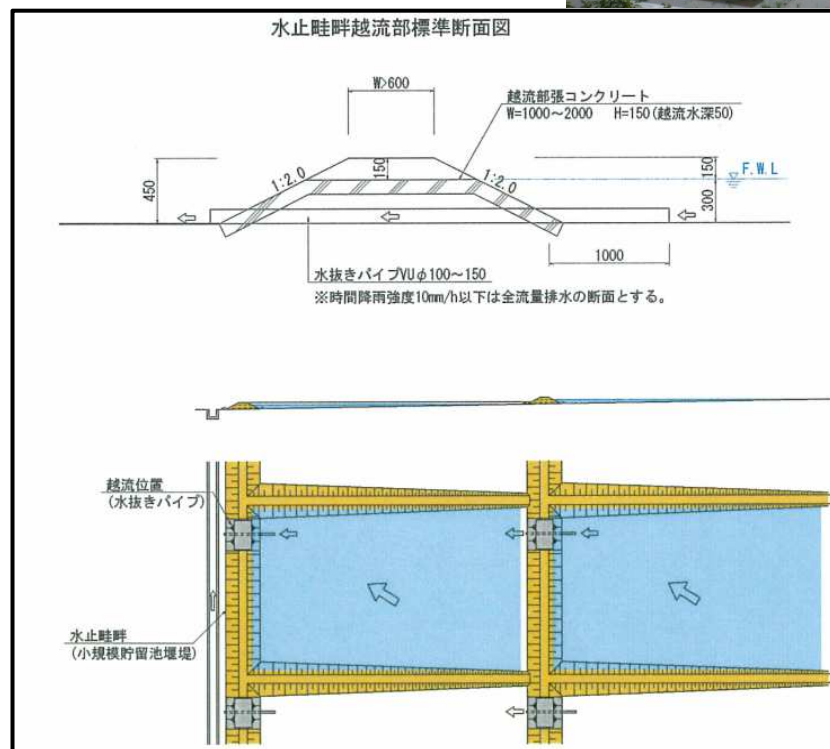


○施設用地内の太陽光パネル下部に水止め畦畔（H=0~0.45m、最大貯留水深0.3m）を敷設し、圃場のように雨水を一時貯留する遊水池の機能を持たせています。

#### 【効果】

最近、太陽光パネルの設置が急速に普及しており、流域での雨水貯留効果の向上が期待できます。

61ha×0.3m=18.3万m<sup>3</sup>貯留可能



雨水貯留状況  
(平成26年8月10日  
台風11号豪雨後)

# 2.流域対策

【流域対策モデル地区】

## 2-8.雨水貯留施設設置助成(各戸貯留)

所有者

市

○洲本市は平成25年4月より雨水貯留施設設置の助成を開始しており、5箇年で最大400戸分の助成を計画しています。

### 【助成実績】

- 平成25年度：12件
- 平成26年度：16件(現時点)



### 【効果】

治水と利水を兼ね備えた効果が期待でき、節水効果が省資源・省エネルギーにも結びつき、地球温暖化防止にも寄与することが期待できます。

約17m<sup>3</sup>貯留可能

各戸貯留施設の例(地上タイプ)

## 2.流域対策

県

### 2-15.①新ひょうごの森づくり:第2期対策の推進 ②災害に強い森づくり :第2期対策の推進

#### 新ひょうごの森づくり

##### 【実績】

- 森林管理100%作戦の実施：間伐 11ha
- 里山林の再生：住民参画型里山林整備 2ha
- 多様な担い手による森づくり活動の推進  
：森林ボランティア団体等による里山林整備 20ha
- 保安林整備：下刈 15ha



スギ林の間伐材搬出  
(洲本市)



植栽木の下刈  
(つる切り)(沼島)



森林ボランティア団体  
による里山林の管理  
(伐採したコナラの丸太に  
椎茸植菌)(淡路市)

##### 【効果】

間伐することで、下草を生えさせ、樹木の根もしっかり張ることから、雨水をたくわえる能力などを回復させています。森林の恵みや大切さを学び、守り育てる人を育成しています。

#### 災害に強い森づくり

##### 【実績】

- 緊急防災林整備：8ha
- 里山防災林整備：12ha



人家裏の危険木伐採  
(里山防災林整備)(洲本市)

##### 【効果】

伐採木を利用した簡易な土留工により、降雨による表土の流出を緩和します。人家裏の倒れそうな木の伐採や谷の侵食を抑える床固工などの簡易な防災施設を設置します。



## 2.流域対策

### 2-16.放置竹林対策

県 市

○森林の整備及び保全の一環として、「放置竹林対策」を推進しています。

#### 【実績】

- ・竹林の伐採・搬出支援：1.5ha
- ・シニアサポーター活動支援：竹細工学習会等23回開催
- ・森林復元モデル竹林調査：2箇所
- ・竹資源利用調査・検討：あわじ竹資源エネルギー化5か年計画策定、高齢者施設竹チップボイラー1基導入支援

#### 【効果】

竹林を整備・保全することにより、土砂流出抑制機能、斜面崩壊防止機能などの公益的機能を高度に発揮します。



竹バイオマス工場(淡路市)



花卉栽培用竹チップボイラー(温風)  
(淡路市)



放置竹林の伐採(南あわじ市)



## 2.流域対策

### 【平成26年度の流域対策による雨水貯留可能量】

○ため池貯留	：	3 万m <sup>3</sup>	※平成26年台風19号時は1,500 万m <sup>3</sup> を貯留
○水田貯留	：	1.3万m <sup>3</sup>	
○公園貯留	：	1 万m <sup>3</sup>	
○林地開発	：	18.3万m <sup>3</sup>	
○各戸貯留	：	0.002万m <sup>3</sup> (約17m <sup>3</sup> )	

---

合計                    ：**23.6万m<sup>3</sup>**



25mプールで  
約656杯分



“雨水をためる”はばタン

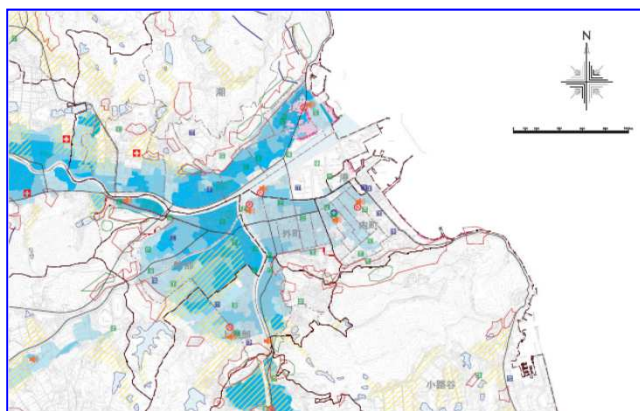
## 3.減災対策

# 3.減災対策

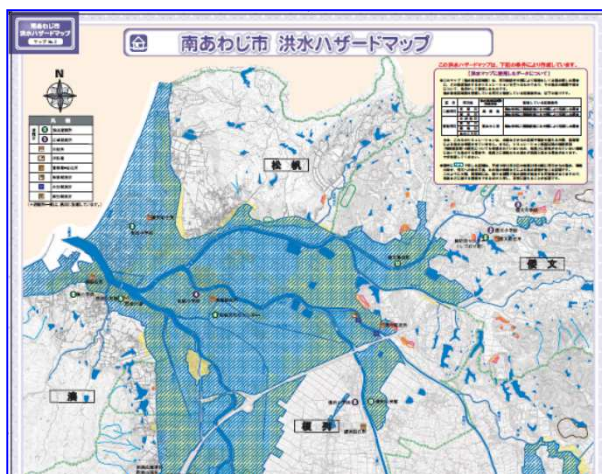
## 3-2.洪水ハザードマップの更新及び各戸配布 市

○島内3市は、県等からの最新データをもとに、洪水ハザードマップの見直しを行っています。

○3市で計約20,000部を作成、各戸配布するとともにホームページに掲載しています。



洲本市洪水ハザードマップ(抜粋)



南あわじ市洪水ハザードマップ(抜粋)



淡路市洪水ハザードマップ(抜粋)

### 【効果】

災害時に危険となる地区を普段から認識し、避難等がスムーズになることが期待されます。

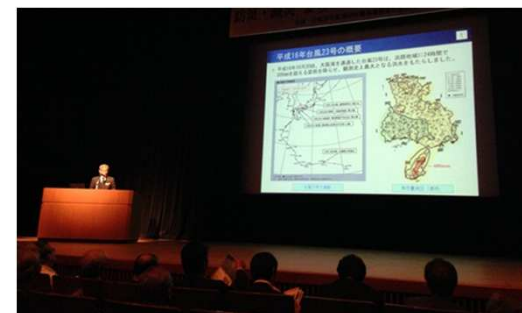
# 3.減災対策

市 県 地域住民

## 3-3①.防災・減災まちづくりシンポジウム2014(1)

○平成16年台風23号災害から10年目を迎え、16年災害を思い起こし、今後の地域防災力の向上につなげる記念シンポジウムを洲本市で開催しました。

- ・平成26年10月20日：洲本市文化体育館
- ・参加者数：約450名
- ・パンフレット「復興のあゆみ」配付【450部】
- ・「みんなでとりくもう！総合治水」配布【450部】
- ・神戸大学農学部 田中丸教授による基調講演  
“ため池の貯留効果等総合治水の内容”



洲本土木事務所長講演



パネルディスカッション

【効果】  
災害を風化させないこととあわせ、総合治水の認知率を高めることができました。

平成26年10月21日神戸新聞



# 3.減災対策

県

## 3-3①.防災・減災まちづくりシンポジウム2014(2)

○防災・減災まちづくりシンポジウム関連イベントとして、平成16年台風23号による災害当時の状況と災害復旧の様子などを紹介するパネル展示と同時に、総合治水の紹介を行いました。



### 【効果】

災害を風化させないこととあわせ、総合治水の認知率を高めることができました。



# 3.減災対策

## 3-3①.防災・減災まちづくりシンポジウム2014(3)

### 総合治水出前講座の実施

県

○県が各地に出向き、総合治水等のPRを実施しています。

- 平成26年10月20日：洲本市文化体育館  
(防災・減災まちづくりシンポジウムの一環)
- 対象：洲本市立第一・第二小学校5年生（約60名）

○ジオラマ模型を用いた実験を行い、整備された校庭貯留など身近に水をためる施設が、大雨における浸水の軽減につながることを実感してもらいました。

○また、雨や洪水に関するクイズを行い、どうすればまちを水害から守ることができるか、子どもたちと一緒に考えました。



総合治水のジオラマ模型

#### 【効果】

総合治水のような地道な取組においては、子どもへの教育が重要です。実際の現象を模型を使って説明し、総合治水対策の重要性を理解してもらいました。



平成26年10月21日神戸新聞



# 3.減災対策

地域住民 県

## 3-3②.洲本川レガッタ・洲本川ウォークの開催

○災害を風化させない取り組みとして、洲本川レガッタ・洲本川ウォークを開催。

【洲本川レガッタ：H26年9月7日開催】

【洲本川ウォーク：H26年10月20日開催】

～防災・減災まちづくりシンポジウムと同日開催～



**Sumoto River Regatta 2014**

洲本川レガッタ  
～平成16年災害からの復興!!～

平成26年9月7日(日)

プログラム

オープニング (9:30～10:00)  
会場:すもとばし精進広場(洲本橋南詰)

レース (10:00～13:00)  
会場:洲本川特設コース(洲本橋(スタート)～洲本橋(ゴール))

参加チーム:一般チーム、洲本高校ボート部、洲本実業高校ボート部、樟学園ボート部

レース(予定):高校男子艇子付ダブルスカル、高校男子シングルスカル、高校女子艇子付ダブルスカル、高校女子シングルスカル、高校男子ダブルスカル、一般ナックルフォア(300m)、高校女子ダブルスカル、一般クォドルブル(400m)

出場クルー募集  
大会事務局にクルー単位(5名)でご応募ください。

出費料	高校生 無料	申込み・問合せ先	洲本川レガッタ2014実行委員会 大会事務局
一般(ナックルフォア)	5,000円		〒656-0025 洲本市本町6丁目3-6(三野方)
一般(クォドルブル)	5,000円		TEL:079-8565-6101(奥野)
※ナックルフォア・クォドルブルは別途予約が必要です			ホームページ: <a href="http://sumotoregatta.smlc.jp/">http://sumotoregatta.smlc.jp/</a>

主催 洲本川レガッタ2014実行委員会  
後援 兵庫県淡路県民局、洲本市、洲本市教育委員会  
朝日新聞洲本支局 ※雨天の場合は中止します



雨天中止になりました。

【効果】  
災害を風化させないこととあわせ、川に親しんでいただくことが期待できます。

# 3.減災対策

県 市

## 3-6①.懸垂幕・ポスターの掲示(総合治水推進週間)

- 総合治水推進週間(5月15日~21日)に県総合庁舎に懸垂幕、ポスターを掲示。
- 3市役所でもポスターを掲示し、総合治水の周知に努めました。

- ・懸垂幕 1枚
- ・ポスター 13枚

### 【効果】

地域住民の皆さんの出入りが多い事務所で掲示することで、PR効果が期待できます。



淡路県民局



洲本市



南あわじ市



淡路市



# 3.減災対策

## 3-6③.ノベルティグッズの配布 県

○総合治水をPRするイベントでノベルティグッズを配布しました。



シャープペンシル:674本



缶バッジ:674個



ハンドブック:674部



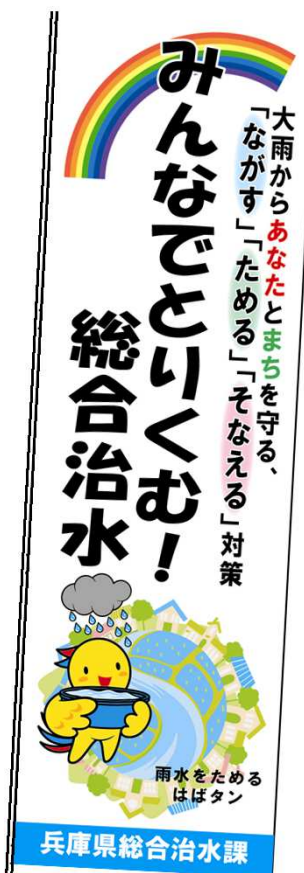
ポケットティッシュ:674個

### 【効果】

総合治水のPRを行い、周知を図ります。



うちわ:224枚



のぼり:3枚

# 3.減災対策

## 3-6④.県民局PRブースによる広報 県

○「阪神タイガース現役選手による野球教室」と関連して、県民局PRブースを設置し、総合治水の周知を図りました。パネル展示の他に、クイズを参加小学生、選手、保護者に回答してもらいました。

- 日時：平成26年12月14日
- 場所：淡路佐野運動公園

- 総合治水紹介パネル【10枚】
- みんなで取り組もう！総合治水【30枚】
- 兵庫県CGハザードマップ【50枚】
- クイズ 総合治水に挑戦！【90部】

### 【効果】

野球教室に参加する小学生をターゲットとすることで同様の保護者にも周知できました。クイズにより好奇心を刺激し、積極的にブースによってもらえるようにした結果、一度答えた子どもが他の子どもを連れてくるという場面も作ることができました。





# 3.減災対策

## 3-7①.出前講座による総合治水のPR

県

○県が各地に出向き、総合治水等のPRを実施しています。

- 平成26年6月2日：防災連絡員研修会(淡路水産センター) 53名
- 平成26年6月24日：出前講座(松帆活性化センター) 55名
- 平成26年10月6日：出前講座(安乎(あいが)中学校) 14名

○防災連絡員研修会では、淡路地域総合治水推進計画のパンフレット配布などを実施しました。

○出前講座では、「ダムばなし」や「総合治水」についてのPRを実施しました。



10月6日出前講座(安乎中学校)

### 【効果】

様々なPRの結果、半年で「総合治水」の認知度が倍増しました(県民アンケートより)。

6.7% (1月)  
↓  
13.7% (6月)

### 雨水貯留や森の保水力向上

# 「総合治水」 認知度13%

河川整備など従来の対策に家庭での雨水貯留などを加えた「総合治水」について兵庫県が県民アンケートを実施したところ、「内容も含め知っている」と答えた人が半年間で2倍に増えたことが分かった。とはいえ、全体で見ると1割強。台風や豪雨による被害が相次ぐ中、県民全体で取り組む総合治水の重要性は高まっており、県は周知に力を入れる。

(関西篇)

アンケートは6月12、25日、インターネットで募集した県民モニターを対象に実施した。2118人のうち1431人(67.6%)から回答を得た。

局地的豪雨などの増加を受け、県は2012年4月、全国初の治水条例を施行。従来の治水対策に、学校の校庭などに水をため、河川に一気に水が流れ込まないようにする流域対策と、浸水被害を軽減する減災対策を加え、整備に取り組んでいる。

アンケートで、総合治水を「知っている」と答えた人が13.7%で今年1月の調査(6.7%)から倍増。「聞いたことはあるが内容は知ら

### 県、出前講座などで周知へ

ない」は27.4%から48.4%に増えた。知るきっかけとなった媒体は行政の広報が最も多く、新聞、インターネットが続いた。

必要なハード対策では「森林の保水力向上」(57.2%)や「雨水をしみこみややすくする透水性舗装や緑地の整備」(42%)が高く、ソフト対策では「ハザードマップなどによる危険箇所や避難経路の周知」(63.3%)が高かった。

一方で、校庭やため池、水田を利用した雨水貯留や家庭でも取り組める雨水タンクの設置などは認知が低かった。県は出前講座などで周知を図ることも、整備も進めている。



# 3.減災対策

## 3-12①～④.新庁舎の耐水機能確保

県 市

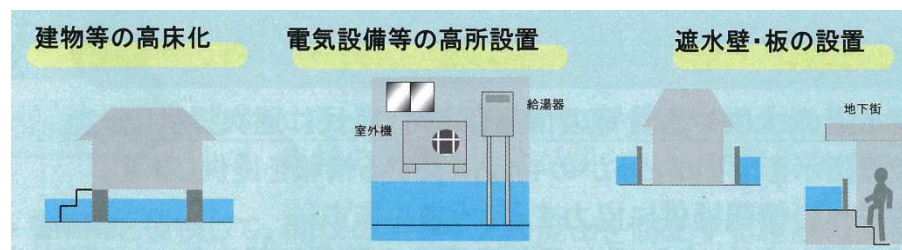
○淡路広域消防事務組合、南あわじ市(以上実施段階)、県総合庁舎、洲本市(以上計画段階)の新庁舎において、電気設備の屋上設置・上階設置など、耐水機能の確保を行います。



南あわじ市新庁舎



洲本市新庁舎基本設計イメージ図



耐水機能の主な例

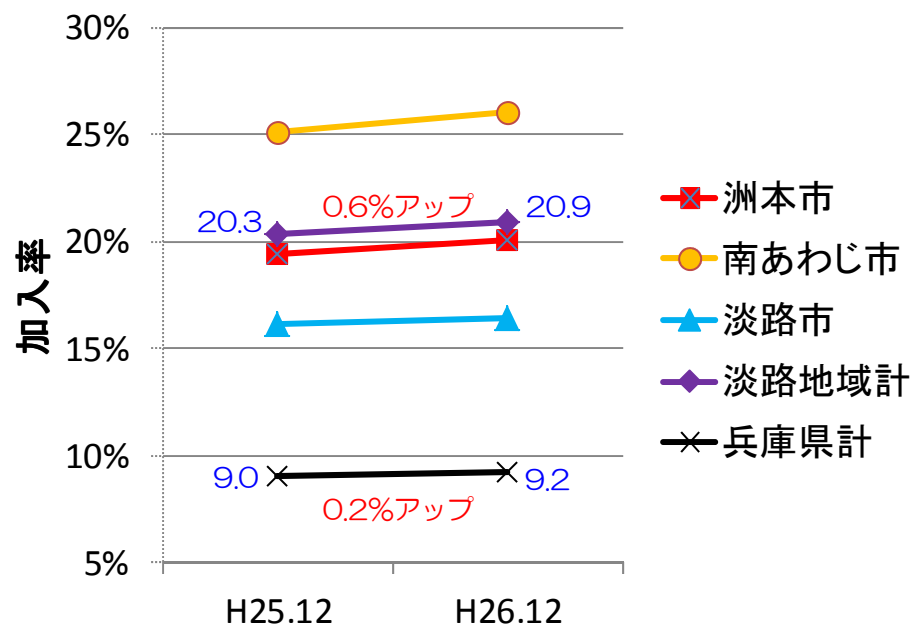
【効果】

浸水時にも電源を確保でき、防災拠点としての活動に支障を来さないようにします。

# 3.減災対策

## 3-15.フェニックス共済への加入促進 県 市

- 推進計画策定後の1年間で、淡路地域の加入率は0.6%アップしました。
- また、平成26年8月から、一部損壊特約の制度が加わりました。



加入率の推移(住宅再建共済制度)

### 【効果】

- 県平均の3倍の加入率アップ。
- さらなる加入促進により、災害に備えます。

自然災害から「住まい」「家財」を守る  
兵庫県住宅再建共済制度

# フェニックス共済

フェニックス共済では、これまで半壊以上を給付対象としてきましたが、新たに一部損壊(損害割合10%以上20%未満)を給付対象とする制度(一部損壊特約)が平成26年8月1日からスタートします(加入申込みは4月から受け付けています)。災害への大切な備えとしてぜひ加入の検討をお願いします。

**小さな負担で大きな支援**

県内に住宅をお持ちの方の  
**住宅再建共済制度**

年額5,000円で  
**最大600万円**  
の給付

分譲マンションにお住まいの方も入れます

県内にお住まいの方の  
**家財再建共済制度**

年額1,500円で  
**最大50万円**  
の給付

借家(賃貸、社宅等)にお住まいの方も入れます

さらにワンコインで追加加入できます! **プラス 住宅再建共済制度に上乗せ加入でもっと安心!!**  
※一部損壊特約のみにご加入いただくことは出来ません。

**住宅再建共済制度(一部損壊特約)**

年額500円で補修時等に**25万円**の給付

※市町が発行する災害証明書で一部損壊(損害割合10%以上20%未満)の認定に限り、

住宅の被害認定
全壊
大規模半壊
半壊
一部損壊(損害割合10%以上20%未満)

これまでの住宅再建共済制度の給付対象  
年額5,000円で最大600万円

一部損壊特約で給付対象となる部分  
年額500円で補修時等に25万円

この度、フェニックス共済では住宅が自然災害により半壊に至らない被害を受けた場合についても、共済給付金を給付することが出来るよう制度を拡充いたしました。

従来の住宅再建共済制度では給付対象外となっていた一部損壊(損害割合10%以上20%未満)について、年額500円の負担金で、補修時等に25万円を給付する制度が平成26年8月1日\*からスタートします。

※一部損壊特約は8月1日より前にお申し込みいただいた場合でも加入日は8月1日となります。

平成26年  
8月1日  
スタート!!

安心を 共に育む フェニックス共済